

User Guidance for Preparation of Camera-Ready Pages for *Progress in Informatics Journal*

Taro JOHO

Institute of Engineering, Univ. of Chiyoda
tjoho@eng.uchiyoda.ac.jp, <http://www.uchiyoda.ac.jp/~tjoho/>

John P. MILLER

National Institute of Informatics, The Graduate School (SOKENDAI)
jpmiller@grad.nii.ac.jp

ABSTRACT

In this part the authors shall describe the outline of the paper within 200 words. The limitation is for the benefit of readers. In the following part we describe the structure of pages so that the authors can make the camera ready manuscripts using their most favorite word processors and document formatters.

KEYWORDS

document processing, electronic publishing, information retrieval, indexing (within 10words)

(長文論文で項目目次を入れる場合、ここに入れます)

1 はじめに

本文は論文誌 *Progress in Informatics* の基本的ページレイアウトについて記述したものです。著者が投稿原稿を作成する場合は、基本的にこの規定に基づいてカメラレディー草稿を用意してください。

Progress in Informatics は著者が作成した PDF 形式のファイルをそのまま版下作成に使用します。ここに記載されている事項に従い、読みやすい版下原稿を作成して下さい。なお PDF 作成に使用するシステム/ソフトウェアは投稿者の選択に任せますが、挿入された図表や写真も含めて版下として十分な再現品質を持つ PDF ファイルを作ってください。

2 基本体裁

基本体裁は A4 サイズ 2 段組とします。ただし幅広の数式を多く含むなどで 2 段組の困難な場合は、1 段組投稿も可とします。ページ数は論文種別を問わず 50 ページ以内とし、それを超過した原稿は受け付けません。

掲載論文は冊子見開き右半分のページから開始し、偶数ページは左側、奇数ページは右側に割り付けられます。

上下辺、左右辺ともマージンは 2cm とします。ヘッダー、フッターは設けません。ページ幅は約 162mm (460pt) です。2 段組では、それを各段 76mm (216pt)

縦方向は 50 行 (行間約 14.4pt.) で作成して下さい。また、最後のページは左右をできるだけ揃えるようにして下さい。

3 各部分のレイアウトとフォントについて

3.1 タイトル部

タイトル部は本文のように 1 段組として下さい。左上には論文種別を指定しますが、

- Research Paper 研究論文
- Survey/Tutorial サーベイ/解説
- Case Study/Field Report/Technical Note 事例/調査報告/テクニカルノート
- R&D Project Report 研究・開発プロジェクト報告

のいずれかとします。

次に 1 行あけてタイトルを記述して下さい。タイトルはゴシック体 14pt. のフォントを用い、左づめにして下さい。

1 行あけて、例のように著者名を 12pt. で、また所属、電子メール/Web URL (もしあれば) を 10pt で、おのおの右づめで記載してください。

1 行あけて概要を、Times 10pt. を用いて記入して下さい。‘Abstract’ という文字は B Sans Serif にします。概要は 200 ワード以内で記載します。

次の行に 10 個以内のキーワードを例のように Times 10pt. にて記入して下さい。‘KEYWORDS’ という文字も sans serif 体にします。

3.2 本文の部分

キーワードの後、2 行あけて本文に移ります。本文は横 2 段組、50 行（行間約 14.4pt.）、明朝体 10pt. で作成して下さい。

4 見出し（見出しが複数行に渡る場合には、このようにインデントを付ける）

4.1 章の見出し

見出しのレベルは 3 段階とし、第 1 レベル（章）は、上に 1 行あけてゴシック体 12pt. により「4. 章の見出し」のように記入して下さい。

4.2 節の見出し

第 2 レベル（節）の見出しは前後に空白行を設けず、ゴシック体 10pt. により「4.2 節の見出し」のように記入して下さい。

4.2.1 項の見出し

第 3 レベル（項）の見出しも前後に空白行を設けず、ゴシック体 9pt. により「4.2.1 項の見出し」のように記入して下さい。

5 数式および数学記号

数式は *italic* 体で作成し、ディスプレイ数式の場合はセンタリングし、式番号を振るときはカッコ付きの通し番号で右づめとして下さい。式も文章の一部です。文章に直接数式が続くときは、

$$F(x) = \frac{a}{\sqrt{a+b}} \int_a^b g(t)dt, \quad (1)$$

のように式の末尾のコンマやピリオドを忘れないでください。

6 図表

図表は、図 1 のように、本文中で引用した箇所に近い場所に置くことを原則とします。原稿末尾にまとめて置くことはさけて下さい。

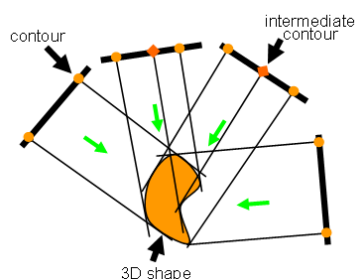


Fig. 1 図のキャプションは図の下に置く

図の前後には空白行を 1 行設け、図のキャプションは図の下に、表のキャプションは表の上に置いて下さい。図番号、表番号は通し番号とし、ゴシック体 9pt. で記入して下さい。

Table 1 表のキャプションは表の上に置く

No.	real	estimated
1	1.5	1.2
2	2.5	2.3
3	3.5	3.4

7 参考文献の形式

参考文献は出現順に番号を付け、該当箇所に [1][2][3] のようにカギカッコで指示して下さい。

参考文献の引用リストは例を参考にして、文末に 1 行あけ、sans serif 体 10pt. で「References」と記した後に、番号順に記入して下さい。

雑誌論文の引用は、「著者名、論文タイトル、雑誌名、巻、号、ページ範囲、出版年」を基本とします。論文タイトルは“引用符”でくくりますが、すぐあとのコンマは引用符の前に出ますので、順序に気をつけてください。雑誌名は *italic* 体としてください。著者名はなるべく省略せず、また *ibid.* (前掲書) などの略記も避けてください。

単行本の引用は「著者名、書名（イタリック）、ページ範囲 (opt)、出版社、出版地 (opt)、出版年、ISBN(opt)」とします。

雑誌、単行本で英語以外の出版物を引用するときは、題名、誌名等を著者の判断で英訳し、(in Japanese) などと原語表示をしてください。

電子ジャーナルやネットワーク上の文書の引用は、形式は自由としますが、なるべく上記に準じて行ってください。

Acknowledgement 謝辞は結論の後に書いて下さい。

References

- [1] T. Yamamoto and A. Miyazawa, “Digital Archiving of Unique Titles (1): Preliminary Statistics and Proposal for Preservation,” *NII Journal*, No. 7, pp.27-36, 2003. (in Japanese)
- [2] Douglas R. Hofstadter, *Gödel, Escher, Bach: An Eternal Golden Braid*, Vintage Books, New York, 1980. ISBN: 0-394-74502-7.
- [3] P.D. Wells, “The MSSM Manual,” http://home.att.net/~hssm_manual.pdf, Oct. 29, 2001.

Appendix 付録の位置

付録があれば参考文献の後に書いて下さい。